



# School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

趣味としてのDIYが人気です。でも、多くの子どもたちにとっては、図工や技術・家庭科のような技能教科で接する以外、物作りはあまり身近ではありません。生活環境が異なるため、昔とは単純に比べられません。物作りの知識や技術を学ぶ機会は、日常では少なくなっています。その為、作り方や道具の使い方を知るのも、地域学校協働活動の魅力のひとつだと言えます。

また、県の技能者人材育成支援事業のように、本格的な物作りをプロから教えてもらえる機会もあります。「何でも売っている」時代だからこそ、時間と手間のかかる物作りは、子どもたちの成長にとって大きな意義があると思います。



エコバッグ (和裁)

まち針で仮止めをして、すべて手縫いで仕上げました。細かな部分を縫うのは苦勞しましたが、技能士の皆さんが丁寧に教えてくれました。買い物ですぐに使えます。( )は技能士の職種

## 小林中 ものづくり体験学習

1年生

### 幸っ子フェスタ

### 幸ヶ丘小



カンポックリ



おじゃみ



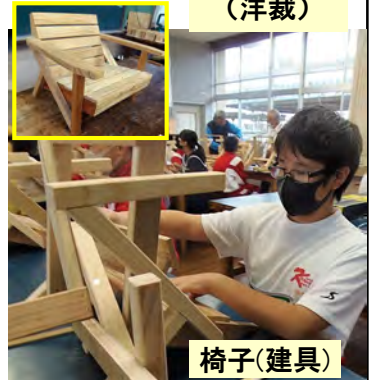
切り絵 (広告美術)



ポシェット (洋裁)



ハムスターハウス (塗装)



椅子 (建具)



【1~4年生】かんぼっくりは空き缶にくぎで穴をあけ、ひもを通して、おじゃみは袋を縫い、数珠玉をいれて作りました。地域と保護者の皆さんに教えてもらいました。

【5・6年生】石や流木、植物で風景を創る「盆景」に挑戦。造園業の皆さんの指導で立派な作品ができました。

8つの職種の技能士さんたちが教えてくれました。縫い物やくぎ打ちなど、普段、する機会が少ない作業にも熱心に取り組みました。上の4つの他は…

- ◆ 盆景(造園・園芸)
- ◆ ミニ畳(畳工芸)
- ◆ エコバッグ(和裁)
- ◆ 化粧箱(表装)



## 西小林中 ものづくり体験教室

1年生



ミニ畳 (畳工芸)

大きな針でござと縁(へり)を縫い合わせ、それを台に止めて完成。活動を通して畳ができる工程も学びました。花瓶とか置くといいですね。

## 三松中 岩戸神楽

2年生



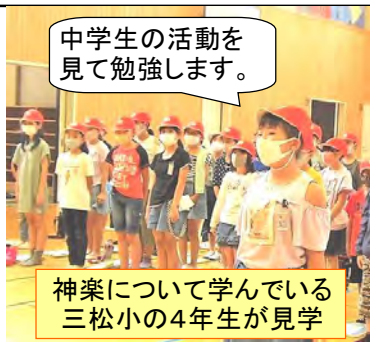
剣の舞



舞い手と伴奏者・道具・背景を全員で分担します。指導は保存会の皆さん



参考になるように  
がんばります。



中学生の活動を  
見て勉強します。

神楽について学んでいる  
三松小の4年生が見学



舞台を飾る彫り物(えりもの)



文化発表会

### 須木中 移動鑑賞教室

県立美術館の事業です。



紹介ビデオを見  
てもらいます。



近くから、遠くから鑑賞



デッサン

県立美術館の紹介ビデオを視聴した後、実際に展示作業をする様子も見学。その後、県出身の瑛丸を始め4名の画家の作品をじっくりと鑑賞しました。生徒たちは本物の美術作品を前に興味津々、芸術の秋を満喫していました。

### 南小 手話の学習

コミュニケーションの一つ、  
ジェスチャーに挑戦しました。



ご苦労さま

さようなら

5年生



私の名前は…



指導は木の実会の皆さん。聞こえない方とのコミュニケーションの方法についてお話を聞き、自分たちができることを考えました。その後、指文字と簡単な手話での自己紹介を練習して、お互いにやってみたり、みんなの前で発表しました。

### 野尻小 不審者対応訓練

子どもを見に来  
ただけやが！



全力で逃げます



全員がとても熱心に  
取り組んでいました。



たまに1人で帰る  
ことがあるので、  
1人で帰らないよ  
うにします。



栗須さん  
(小林警察署)

「訓練だと分かっているけど怖かった」と、多くの児童が話していました。それだけ真剣に取り組んだのでしょう。終了後、栗須さんから校長先生と担当の先生に、避難経路と職員の対応についてのアドバイスがありました。「小学生の頃、知らない人に声をかけられて怖かったことが、警察官をめざしたきっかけになりました」と、栗須さんは子どもたちに話していました。

### 野尻中 未来予想図【中間発表会】

3年生

小林市の現状と課題について、4班に分かれてお話を伺った後、小林を住みたいまちにするためのアイデアや意見を発表しました。



知る

講師は市役所職員【商工観光課・畜産課・学校教育課・医療介護連携室】



発表する



まとめる

各班2つのグループが、事前に作成した企画書に基づいて発表。具体的な提案もたくさんありました。その後、講師の皆さんの感想やアドバイスを聞き、質疑応答と話し合いを重ねて企画書を見直しました。

さらに検討・修正を加えて、最終発表会に臨みます。





# School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

3月以降、学校を訪問させていただく機会が少なくなりました。でも、子どもたちと保護者・地域のために、感染対策を講じながら行事をやり遂げた先生方の工夫と熱意を感じ、多くを学んだ期間でもありました。

同時に、久しぶりの子どもたちとの触れ合いを、地域の皆さんが心から喜んでる姿を見て、地域学校協働活動は学校と地域を元気づける活動だと改めて思いました。

学校が大変な中で、気持ちよく取材にに応じてくださった校長先生を始め、教職員の皆様に深く感謝申し上げます。



## 西小林中2年生 読み聞かせ

西小林小



幸ヶ丘小

読み方が上手でした。

小中連携の取組の一つ、母校での読み聞かせです。中学生は、練習の成果を發揮して1・2年生を相手に優しく読み聞かせ、小学生は、中学生にあこがれの眼差しを向けながら熱心に聞き入っていました。

西小林小では、ボランティアと上学年の児童が一緒に読み聞かせをする活動もしています。

## 須木中 ライフプランニング「私」とみらい」

生活設計とは「自分の将来について具体的に考えること」です。



ドリームジャンボ学園(社会福祉協議会須木支所主催)の2回目。講師はジブラルタ生命の広瀬さん。内容は「生活設計とお金」「リスクへの備え」「公的保障」など



ふるさとセンター

結婚や子どもの教育費についてのクイズもありました。

将来を考えると、リスクへの備えが必要だと感じました。



広瀬さんは「これまでに3回のピンチに出会いましたが乗り越えて強くなりました」など、ご自身の体験をもとに、人生を自分らしく豊かに過ごすために必要なことについてお話してくださいました。

学校保健委員会。上学年と下学年で実施しました。

## 東方小 スマホ安全教室



1~3年生

ネットのゲームで気をつけることを話し合います。



4~6年生

悪ふざけで投稿しません。

課金や投稿の事例をもとに、トラブルを回避する方法について、児童も保護者も真剣に考えていました。スマホに「子守」をさせる時代です。大人子どもを問わず、こういう学習の機会は益々必要になることでしょう。(講師は堀之内さん・千代盛さん:都城警察署少年補導職員)

## 三松小 きょう土を開く

4年生



昔は鉄が貴重でした。

野尻原用水路の建設で使われた道具を通して、当時の人々の生活について考える、黒木先生による模範授業。ゲストティーチャーは井上さん(社会教育課)



巨大な  
のこぎり

昔の「くわ」や「もっこ」などを観察した後、「何のために苦勞して工事をしたのか？」を考えました。農産物が育てば豊かになれる。幸せに暮らしたい。今だけでなく、未来の人たちのことも思って…等の意見がたくさん出ました。水が不足していた野尻町に用水路ができ、生まれて初めてお米を食べた人も多かったそうです。

**細野小 鑑賞教室**

文化庁「文化芸術による子供の育成総合事業」。広島交響楽団70名の演奏会



感染対策で、ビニールシートをはさんで…



演奏と楽器の紹介、指揮者体験に加え、児童との共演もありました。4年生はこの日のために練習を重ね「おもちゃの交響曲」を立派に演奏しました。代表の児童が述べた「共演できて達成感がありました。この感動を家族にも伝えたいです」とのお礼の言葉が心に残りました。

**細野中 ひむか地産地消交流給食会**

1年生



しいたけのコマ打ち



2・3年生

カツオの一本釣り

【参加者】学校給食会・JA・漁連・榎本吉(しいたけ栽培)

1年生は参加者との交流給食を行い、5校時には、各事業所が設置した4つのブースを回り、野菜や魚、給食についての説明を担当の方から聞きました。2・3年生は、昼休みに自由に見学。生徒たちは、活動を通して、宮崎県の食の豊かさを改めて確認していました。

**稲刈り**

栗須小 全校児童



足踏み式の脱穀機

学校田で何十年も続く地域との協働活動です。コロナ対策で、営農組合を始め7つの協力団体は代表のみでしたが、それでも保護者と合わせて多くの皆さんに参加していただきました。



細野小 5年生

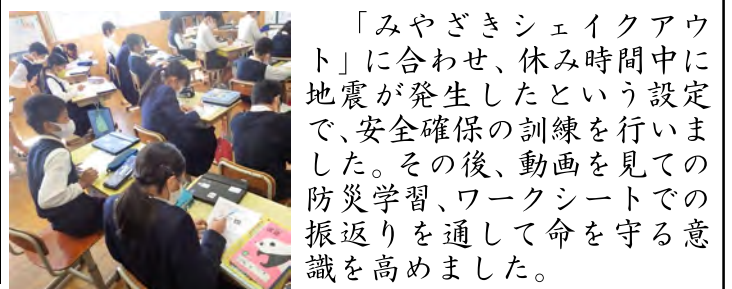
泥んこになって植えたもち米です。まちづくり協議会やJAなどの協力で、稲刈りと足踏み式脱穀機の体験、コンバインでの作業を見学しました。昔と今の米作りを学ぶ機会にもなりました。

**南小 防災教育**

6年生



素早く机の下に



「みやぎきシェイクアウト」に合わせ、休み時間中に地震が発生したという設定で、安全確保の訓練を行いました。その後、動画を見ての防災学習、ワークシートでの振り返りを通して命を守る意識を高めました。



# School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

南小では、南小まつりが中止になり、来校する予定だった方に子どもたちが手紙を書いたところ大変喜ばれ、「人と人との温かなつながりを感じました」との返信が届いたそうです。地域の皆さんとの「心の交流」の一例ですね。

講師の方に児童生徒のお礼状や感想文を送ったり、校区内の一人暮らしの高齢者に年賀状や花を届ける活動をしている事例もあります。(東方中・須木中) 豊かな人間関係はまちづくりの第一歩。一緒に活動できなくても、交流を図る手段はたくさんあることでしょ。

## 紙屋中 高妻神社の清掃活動

1・3年生



手話で表現。紙屋の「屋」です。

がんばろう！かみや〜



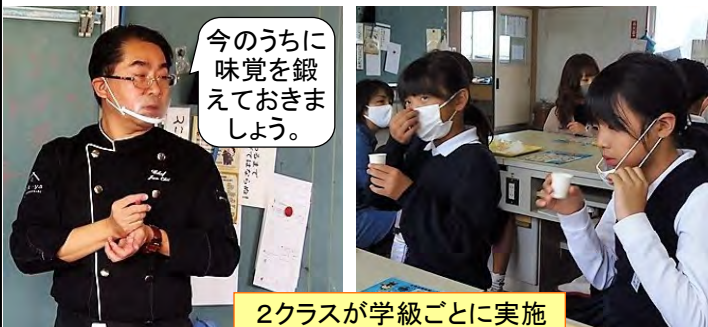
毎年、ほぜまつり(豊作感謝祭)を前に行っている恒例の活動です。落葉掃き、社務所や拝殿・本殿の拭き掃除に熱心に取り組みました。

生徒のあいさつより…【初めの会】「地域に貢献できるようにがんばりましょう」【終わりの会】「地域の方がほぜまつりをすがるがしく迎えられます」

【宮司の吉村さん】「今年は神事だけになりますが、皆さんのおかげできれいになり、神様も喜んでおられることでしょう」(2年生は職場体験学習でした)

## 地井シェフの「味覚の授業」

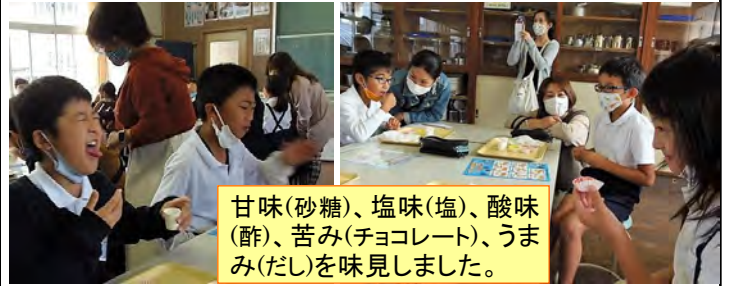
細野小 3年生



今のうちに味覚を鍛えておきましょう。

2クラスが学級ごとに実施

地井潤さんはヨーロッパ3か国の日本大使館でシェフを務めた元公邸料理人。大阪府出身で、現在は、母親の出身地の小林で地元の食材を使ったレストラン“Kokoya de kobayashi”を開いています。



甘味(砂糖)、塩味(塩)、酸味(酢)、苦み(チョコレート)、うまみ(だし)を味見しました。

「甘い」や「すっぱい」など、味を表わす言葉を出し合った後、5種類を味見。だしと塩、酢と砂糖の「味のたし算」もやってみました。この日はオープンスクール。子どもたちの反応を保護者は興味深く見守っていました。

## 小林小 5年生

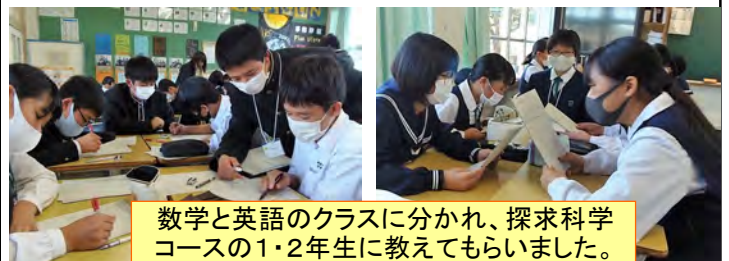


鼻をつまむと味を感じません。

味を足すとおいしいと感じた子がほとんどでした。最後に、児童から「どの味を大切にしていますか？」との質問。シェフの答えは「レストランでは、いろんな味をバランスよく出すようにしています」でした。味を感じる味蕾細胞は5年生くらいでいちばん多くなるそうです。

## 小林高校生の学習支援

細野中 3年生



数学と英語のクラスに分かれ、探求科学コースの1・2年生に教えてもらいました。

地域探求の学習を進める中で、地域の学力向上のためにできることの一つとして、中学校での学習教室を考えました。高校生は2時間の打合せを行い、指導方法を確認して臨みました。高校生に教えてもらうことで、中学生はいつも以上に「やる気」を出したようです。

## 東方中 ふれあい体験学習

2年生



中間発表会

年齢に応じた絵本とおもちゃを選びましょう。

富満文字子さん  
(東方保育園園長)



中学生に勝ってね!

東方保育園訪問

指人形



紙コプター

紙コップがゴムで跳び上がります。

富満園長先生のアドバイスを受けて、活動内容や時間配分を見直し本番に臨みました。当日は、ボールや指人形、読み聞かせの絵本、プレゼントのメダルなどをたくさん準備して訪問。読み聞かせや手作りのおもちゃで楽しく過ごし、あっという間の1時間半でした。

帰り際、「準備したものを100%出せました」と、男子生徒。きっと全員が同じ思いで活動を終えたことでしょう。

## 三松中 花壇植栽活動

1年生



平成22年から続く取組。パンジー、ビオラ、金魚草などを土木事務所と造園業の皆さんと植えました。



「山崎」前の国道沿い

学校と小林土木事務所が道路の環境整備の協定を結んで始まった取組です。生徒たちは、担当する花壇のレイアウトを考え、協力して手際よく植え付けていました。公共の道路沿いに花を植える際、土木事務所が苗や肥料を補助することもあるそうです。

## 社会科見学

永久津小 3年生



東方小 3年生



消防署も見学しました。



小林小 2年生



図書館



## 幸ヶ丘小 1・2年生

東方給食センター



児童の質問への回答より…

【永久津小】火事がない時は、避難訓練や立入検査の準備、火事の報告書を書いたりしている。ドクターヘリは宮崎から15分で飛んでくる。119番につながる電話は、今は3つ。大きな災害が起きると8つに増える。

【東方小】昨年の通報件数は1,419件、1日では3.8件。警察官75人、事務職員7人が働いている。急ぐときは赤色灯をつけ、サイレンを鳴らして約80Kmで走る。

【小林小】113年前(1908年)に建設。174,898冊の本がある。小林小は18,645冊。1か月に250~300冊の新刊が入る。1日の来館者は150~200人。職員は14人

【幸ヶ丘小】給食を運ぶトラックは3台あり、1週間で交替する。地元の食材を多く使い、熱いものは熱く、冷たいものは冷たくして運ぶので、小林の給食はおいしい。

 **よいお年をお迎えください** 



# School Volunteer KSSVCだより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け



コロナの先行きが不透明なまま迎えた新年。本当におめでとうのか自問しながらも、学校と地域の皆様にとって良き年であることを願って…

あけまして  
おめでとう  
ございます

昨年の4月から12月まで、事務局が取材させていただいた活動は約170件。自粛の影響で、例年に比べ20件ほど少なくなっています。それでも、これだけの活動を参観できたのは、先生方がさまざまな感染対策を行った上で取り組まれた結果に他ありません。

今後の状況が大変気になるところですが、学校からの情報に沿って、できる限り訪問させていただきます。



本年も、よろしくお願いたします。

しめ縄づくり ~異年齢交流~

紙屋中1年生



須木中



12月の恒例行事。地域の皆さん(須木中は友愛クラブ)にワラのない方から教えてもらいました。叩いて柔らかくしたワラ3束をより合わせて1本の縄にします。それをしめ縄の形にし、飾りをつけて出来上がり。両校ともに、子どもたちと先生方は「ワラない」に苦戦しながらも1時間半ほどかけて立派なしめ縄を完成させました。

しめ縄を作れる人がだんだん少なくなっています。貴重な伝統を伝えてくださる方々は、まさに「地域の宝」です。

野尻小 国際理解学習

3年生



首に巻いて、歓迎の気持ちを表します。



ナマステ

ウエルカムスカーフ「カダ」

講師は野田利典(としのり)さん。たくさんの写真とともにネパールを紹介、笛や太鼓などの民族楽器や、これまでに訪問した外国のお金も見せてくださいました。野尻小では4年生がネパールの子どもたちと絵の交流をしています。

「来年は皆さんの絵をネパールに持って行きます」と、野田さんは話していました。

30年ほど前、ニジマスの卵5万個が、小林(出の山)からネパールへ贈られました。今では、農業が難しい山地でも、豊富な川の水を使ってニジマスが養殖され、多くの人々の生活を支えています。

小学生と中学生の交流活動

西小林中3年生  
西小中小1年生  
幸ヶ丘小1年生



さかな釣り



商品でもらったメダル



ゴム鉄砲



西小林中で実施。目的の一つは「母校の小学1年生とふれ合い、地域へ貢献しようとする意識を高め、実践していこうとする態度を育成する」です。中学生は、遊び道具や賞品のメダルを自作し、5つの活動場所で交流を深めました。

会場はボーリングや神経衰弱(絵合わせ)、宝探しなどで盛り上がり、終了間際に「え〜もう終わり」という声が1年生から上がっていました。

## 人権教室

人権擁護委員・都城法務局の皆さんが来校しました。

### 東方小



黒猫は生まれただけで嫌われる

【1・5・6年】人権カルタ【2年】紙芝居「白い魚とサメの子」【3年】いじめのDVDを視聴しての授業【4年】「ないたあかおに」を聞いて…



### 細野小



時間を決めて使います。

【1・2年】紙芝居「白い魚とサメの子」【3・4・5年】ポッチャ【6年】いじめへの対応を自助・共助・公助の視点で考える。

### 小林小 6年生



前村さん(NTTドコモ)

### 南小



ゲームは休みの日だけします。

スマホ安全教室(福岡とのリモート授業)。小林小は6年生の学級ごと、南小は低中高の2学年ずつ学年に応じた内容で実施。アニメやドラマで、ルールやマナーを守ることの大切さ、SNSでの注意点などを学習。最後に人権擁護委員の講話

人権週間に合わせた取組です。学校によって実施方法や内容は異なりますが、いじめや差別、相手への思いやり、コミュニケーションの方法など、テーマは共通しています。

人権の問題は社会状況によって変わります。近年増加しているSNSによる差別や人権侵害はその一例でしょう。児童の熱心な様子を見て、多様化・複雑化する人権問題を考え、対処法を学ぶ良いきっかけになったと感じました。

## ハローワーク in 東方 ~福祉編~

東方中  
1・2年生

福祉に関する7職種9名によるキャリア学習



初めに、小田恭子さん(市社会福祉法人連絡会会長)の講話「福祉に関する職業について」を全体で聞いた後、3職種のブースを回りました。仕事の内容、やりがいや苦勞などのお話を直接聞き、今後、ますます重要になる福祉の仕事について理解を深めるよい機会になりました。

【講師の職種】①保育士(東方保育園)②社会福祉士(ありの実園)③介護職員(陽光の里)④歯科衛生士(ひなもり園)⑤看護師(きりしまの園)⑥相談員(野菊の里)⑦管理栄養士(社会福祉協議会)

## 三松中 んまつーポス スクールコンサート



んまつーポス:2006年結成。14国35都市で公演やワークショップを実施。2019年には宮崎市にコンテンポラリーダンス専用劇場をオープン

全校を2つに分け、2回公演で実施した鑑賞教室。生徒たちは、迫力あるダンスに驚いたり、いろいろな動きに挑戦するワークショップで盛り上がり、最後まで楽しく参加していました。

## 細野中 農業体験学習 ~農家民泊~

1年生



ピザづくり

コマ打ち

10の農家に分かれ、野菜の収穫・薪割り・地元の食材を使った食事作りも体験。2日間の共同生活で、学校生活や将来の夢、農業のことなど、級友や農家さんたちと話がはずみました。

学校での退村式では、代表生徒が「貴重な体験ができ、友だちとの絆が深まりました」とお礼を述べました。また、田舎物語の福本会長の「北きりしまが好きになった人？」の問いかけに、全員が元気よく手を挙げていました。(検温と消毒を常時行いながら実施。北きりしま田舎物語とスポーツ振興課の事業。永久津中と三松中でも実施しています)





# School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

## 西小林中 立志式

2年生

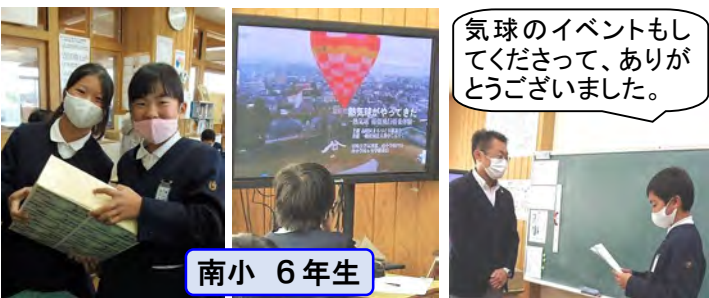
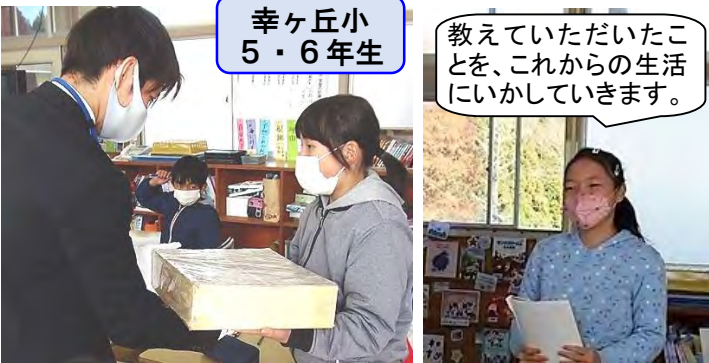


これまでの自分を振り返り、将来の決意を堂々と述べました。その姿は大変頼もしく、参列した保護者や来賓の皆さんは、子どもたちの確かな成長を感じ、1年生は来年の自分たちの姿を思い浮かべていました。

この時期、各校の特色を生かした「立志の集い」や「二分の一成人式」が実施されます。

## 租税教室

西小林中 3年生



南小 6年生

講師の吉村さんは地域おこしの活動にも携わっています。コロナで沈みがちな子どもたちを元気づけ、いい思い出ができるようにと、補助金を活用し、宮崎大学と協力して気球の試乗体験のイベントを実施しました。

三松小 6年生



小・中で内容が異なりますが、税金の種類と仕組み、教育に係る税金、もし税金がなくなると…など、画像と資料で分かりやすく教えてくださいました。どの教室でも盛り上がったのは「1億円」。約10キロのお札の塊を交替で持たせてもらいました。講師の皆さんは…

- 【西小林中】稲留さん・内場さん (小林税務署)
- 【幸ヶ丘小】大城さん・内場さん (小林税務署)
- 【南小】吉村さん (小林法人会青年部会)
- 【三松小】池井さん・金丸さん (市税務課)

## 三松小 高齢者体験

3年生



器具を装着して、加齢による視力や聴力、筋力などの衰えを体験。高齢者の気持ちや介助の仕方、高齢者とのコミュニケーションの取り方などを学びました。

(指導は社会福祉協議会と福祉教育協力員の皆さん)

## 小林小 福祉体験学習

4年生 車いす体験



障がいのある人や介助する人の状況、お互いの気持ちを理解する学習です。3人1組で、車いす体験、介助者、記録者を交代しながら、スロープや段差などのあるコースを回りました。(指導は社会福祉協議会と福祉教育協力員の皆さん)

小林小の4年生は、他にもいろいろな福祉体験をしています。別の日には「朗読友の会」の堀之内さんと水間さんから、目の不自由な方に市の広報紙や議会だよりを録音して届ける活動についてのお話を聞き、聞き取りやすい朗読の仕方を教えてもらいました。



**須木小 史跡めぐり**

**6年生**



二原遺跡



えびの市歴史民俗資料館

二原遺跡では、小林ガイドボランティアの方から発掘された時の状態で保存されている地下式横穴墓の構造や歴史について、えびの市歴史民俗資料館では、学芸員の方から展示資料などについて説明を受けました。子どもたちは、本物に驚いたり、感心したりしながら、昔の人々の暮らしぶりを想像していました。

**紙屋小 野尻町歴史民俗資料館**

**3・4年生**



案内と説明は井上さん・下野さん(社会教育課)と小林ガイドボランティア協会の皆さん



館内の民具を始め、歴史資料や遺跡からの出土品などを見学しました。のこぎり、斧、背負子(しょいこ)など、昔の人々が使っていた道具に触れる時間もあり、歴史を身近に感じることができました。初めて来館する児童がほとんどで、今回の見学は、歴史に興味を抱くきっかけになったことと思います。👤❄️👤👤❄️👤👤❄️👤

私が子どもの頃、上岩戸に住んでいた祖父母は、背負子や「かるい」(竹製の背負いかご)を背負って山や畑に行くのが日課でした。現代の背負子はアルミ製で車輪付。「キャリアカート」の名前で売られています。キャンプなど、アウトドアでの需要が高いのでしょう。

**須木中 小林市未来予想図 ～リモート発表会～**



**3年生**



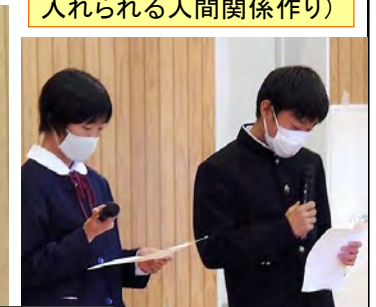
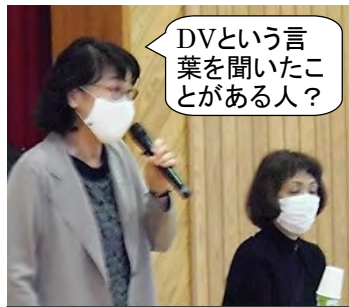
相手はリモートで交流のある海士(あま)中学校(島根県海士町)3年生です。2つの班が小林市を活性化させるアイデアを発表しました。その後、海士中からのアドバイスを基に、内容を検討、修正し、学習成果発表会に臨みました。

**【海士中から届いたアドバイスと感想より】**

- ◆ スライドの文字をもう少し大きくすると見やすいです。
- ◆ 見る側が飽きない発表でした。
- ◆ 須木の特徴を生かしていてよかったです。
- ◆ 素晴らしい発表でした。

**三松中 性教育講演会**

テーマ: 性的自己決定権 (NOと言える、NOを受け入れられる人間関係作り)



佐藤さん・坂元さん(ハートスペース M)

デートDVについての講演会。部活の大切な試合前、好きな人から遊びに誘われた状況を想定し、YouメッセージとIメッセージを使って対応を考えるロールプレイングも行いました。

例えば… 彼女 大切な試合前の練習があるの。彼《You》練習したって無駄だよ。部活なんかやめろよ。《I》残念だけど、しかたないな。がんばれよ!

【佐藤さんのお話より】 ◆ 相手も自分も、同じように大切にすると対等で自立した関係を作りましょう。男だから、女だからではなく、自分らしさをもって、Iメッセージをたくさん使ってください。◆ 「けんか」が対等な関係なのに、対し「デートDV」は一方的で、上下関係が存在します。◆ DVといじめの構造は同じです。暴力を受けた話はするけど、冗談っぽく話して終わらせるとか、最近笑顔が少なくなったりなど、周りの人がサインを見逃さないことが大切です。

**【事務局より】** ■ (学校コーディネーターの皆様へ)

実践記録集の原稿が1月29日(金)までとなっています。よろしくお祈りします。

■ 県の緊急事態宣言を受け、多くの活動が中止や延期になっています。実施されるかどうかの確認は、前日に、事務局から学校へ電話をいたします。





# School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

地域学校協働活動は人と人とのつながりで成り立っています。それ故、活動が密になりがちで、コロナ禍での実施は非常に難しいことでしょう。でも、こういう時こそ、地域の皆さんとの「密な関係」をどう創っていくのかを考えてみるのも良いかもしれません。

一緒に活動しなくてもできる「協働活動」とは？ 学校から寄せられた実践記録集の原稿に目を通しながら考えを巡らしています。



## 子どもたちを守るために…



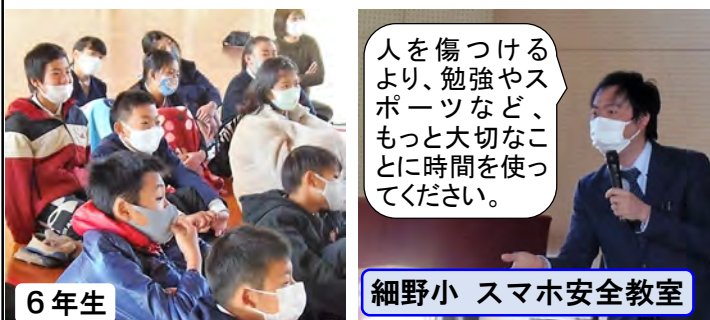
細野中 スマホ ケータイ 情報安全教室

【講師】 本田さん(ドコモショップ小林店店主)  
 【主な内容】 ◆ 今と昔のゲーム機の違い。視力への影響 ◆ SNSの種類 ◆ SNSで気をつけること ◆ オンラインゲームの危険性 ◆ 「切れそう」になった時の対処法 ◆ SNSを上手に使う工夫 など



野尻中 情報モラル教室

【講師】 堀之内さん・千代盛さん・山本さん(都城警察署)  
 【主な内容】 ◆ インターネットの仕組・便利さ・特徴 ◆ インターネットの危険性(事例の紹介) ◆ ネット内でのいじめやSNSでの情報流出 ◆ ネット上でも必要な「思いやりの心」と「判断力」 など



6年生

細野小 スマホ安全教室

【講師】 本田さん(ドコモショップ小林店店主)  
 【お話より】 ◆ プラス3行動で生活が変わる。① プラスの言動 ② プラスの表情 ③ プラスの姿勢・行動  
 ◆ 大切なことは… ① SNSで個人情報を書けない ② 友だちの動画を勝手に載せない ③ 友だち同士の課金は絶対しない ④ 「ブチ切れ」たら6秒待つ。100から3ずつ引いていくうちに落ち着く。97 94 91…



須木小 非行防止教室

【講師】 堀之内さん・長崎さん・山本さん(都城警察署)  
 【児童への質問より】 ◆ インターネットでしていることは？ ◆ 家にあるネットにつながる道具は？ ◆ (トラブルの事例を見て) 何が悪かったか？ どうすればよかったか？ これからどうすればよいか？ ◆ 友だちだけに見せようと送った写真が拡散することもあります。



紙屋小 薬物乱用防止教室

【講師】 鳥浜さん(学校薬剤師:紙屋小出身)  
 【主な内容】 ◆ 飲酒の身体的・精神的影響 ◆ 喫煙の影響や依存症 ◆ 違法薬物の心身への影響やその怖さ、断る勇気【質問に答えて】 ◆ 大麻には脳に影響を及ぼす成分が入っており、法律で禁止されています。 ◆ 医療用の麻薬は医師の指示で使えるが、その他の違法なものは、絶対には買ってはいけません。

安全教育でSNSや覚せい剤の話題が取り上げられるのが普通になりました。この先、時代とともに新しい「道具」が生まれ、安全への対策もさらに多岐にわたることでしょう。

しかし、環境がいくら変わっても、身を守り、豊かな人間関係を育むためには、相手を思いやる心や正しい知識に裏付けされた適切な判断力など、人としての基本的な資質が必要なのは言うまでもありません。

## 幸ヶ丘小 ヨガ教室 ～学校保健委員会～



長崎さん(小林市  
スポーツ推進委員)

持久走大会後の活動です。大切な3つのアーチ(首・腰・足の裏)に関連する運動や体幹の矯正、胸郭を広げて息を吸う方法など、盛りだくさんの内容でした。

保護者と先生方もやってみて、子どもたちの体の柔らかさを再認識していました。

【児童代表 お礼の言葉より】体の使い方や呼吸の仕方を教えていただき、持久走の疲れがとれました。

## 野尻小 収穫感謝集会

1～3年生



花笠音頭(3年生)

例年は、多くの皆さんと餅つきなどで交流しています。今年は、米とさつまいもの栽培でお世話になった営農組合とJAこばやし代表の方々をお招きして、感謝の気持ちを伝えました。歌や踊り、お米についての発表、お礼の手紙など、たくさんのプレゼントに、参加された方々は、笑顔で拍手を送っていました。

## 三松中 手話教室



3年生

小学校でやった自己紹介を、ほとんどの生徒が覚えていて、講師の木の実会の皆さんも感心していました。

「私の大切な家族」(聞こえない父・母・兄と聞こえる私)を視聴して、聞こえない人のいる家族の日常について考えました。その後は手話と指文字を使っての自己紹介。個人とペアで練習した後、発表しました。

短時間の練習にもかかわらず上手にできるので聞いてみると、手話を学んでいる生徒を先生にして、事前に2、3回、講習会をしたそうです。



## 紙屋小 ものづくり体験教室

5・6年生



板金技能士6名の皆さん

上手にできて、  
みんな大満足

板金の技術を生かした銅板レリーフ(表札)づくりです。銅板の文字をへらで裏から押し出し、磨いた後で色を付け、木の板に取り付けて完成。ものづくりマイスターの皆さんに、優しく丁寧に教えていただき、重厚感あふれる立派な作品ができました。

仕事の内容、苦勞とやりがいについてのお話も聞くことができ、「働くこと」の一端にも触れた授業でした。



## 三松小 読み聞かせ



飛び出す絵本

「わたぐも絵本の会」の皆さんが全学級に来てくださいました。コロナで回数は減りましたが、定期的に行っています。クイズに元気よく手を挙げたり、飛び出す絵本に身を乗り出したりと、様々な反応が見られました。

会の皆さんも、「子どもたちが熱心に聞いてくれるので、毎回の訪問がとても楽しみです」と話していました。

## 3年生の面接指導

協力は退職校長会西諸支部。  
三松中5名、細野中6名参加



三松中

細野中

私立専願と県立推薦の生徒を対象に1月に行いました。両校とも、校内で繰り返し練習しており、態度や受答えの内容は十分に満足できるものでした。特に、多くの生徒が志望の動機を具体的に述べていたのが印象に残りました。

「とても緊張しました!」と生徒。外部人材の活用は、こういう時に効果を発揮します。

退職校長会の役割の一つは地域への貢献です。お手伝いできることがあれば、遠慮なく声をかけてください。(KSSVC事務局で受け付けます)



# School Volunteer KSSVCだより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け



南小 5年生・6年生

個性豊かな文字と「春」にひかれ、許可を得て撮らせてもらいました。子どもたちは、やって来るそれぞれの春や、「感謝」を伝える相手のことを思い浮かべながら書いたのだろうと想像したところです。巣立ち、旅立ちの春です。

【講師】 谷屋さん(イートスタイル社長秘書) 古川さん(二葉薬局管理薬剤師) 瀬戸口さん(池井病院総合企画課長) 後藤さん(自衛隊小林事務所所長) 宮内さん(海上自衛隊員) 淵脇さん(ソニー生命営業所長) 青野さん(BRIDGE the gap 代表) 本田さん(NTTドコモ小林店 店長) 福永さん・吉元さん(トヨタカローラ宮崎) 掘さん(ホリケンファーム) 長塚さん(地方創生課)



ご協力、ありがとうございました。

## 幸ヶ丘小 園児との交流 in かおる幼稚園



1・2年生



5・6年生

1・2年生は紙のおもちゃ「くるくるぷろぺら」を一緒に作って遊びながら交流を深めました。5・6年生は保育体験。先生になったつもりで、外遊びや室内活動で園児たちをサポートしました。年齢の近いお姉さん、お兄さんたちと遊ぶ園児たちには、笑顔がたくさん溢れていました。

## 細野中 立志式・企業訪問

2年生



ここで作られる製品です。

社長室で一人ずつ記念撮影



社長さんがポーズをアドバイス

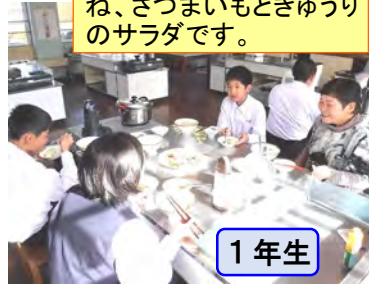
保護者と1年生が見守る中、一人ひとりが力強く決意を述べ、全員での立志の誓い5項目、立志の歌と続けました。

午後からは(株)ミヤザキを訪問。山之上社長(細野中出身)のお話を聴き、最新設備が整った工場を見学しました。生徒たちは1台数千万の精密機械がたくさんあるのにびっくり。社員の皆さんの丁寧な挨拶と、交替で掃除をしているというピカピカのトイレに感心していました。

(株)ミヤザキ: 昭和48年創業、本社は埼玉。アクリル・樹脂・プラスチックの特注加工を専門にしています。

## 西小林中 郷土料理教室

先生は地域の方5名。メニューはシチュー、がね、さつまいもときゅうりのサラダです。



1年生

2年生が技術の授業で育てたさつまいもを使って3品を作りました。切ったり、ゆでたり、揚げたりする際には、やや不安な場面もありましたが、地域の皆さんのアドバイスで、無事、時間内に終わることができました。そして、全員が、笑顔でおいしくいただきました。

2・3年生も、別の日に、さつまいもを使った料理を地域の方と一緒に作りました。

## 三松中 13歳のハローワーク

協力はキャリア教育支援センター



1年生

将来の職業観・勤労観を育む出前講座。10業種12名の皆さんに来ていただきました。生徒は20分ずつ3か所のブースを訪問し、説明を聞き、質問をしました。

社会人の皆さんにとっても、自分の仕事を見つめ直す良いきっかけになったようです。

- 【お話の内容】 ◆ 自分が考える「社会人」とは  
 ◆ なぜ働くのか ◆ 仕事の具体的な内容  
 ◆ 仕事に就いた経緯 ◆ 仕事の苦勞・やりがい  
 ◆ 中学・高校時代の授業や部活のこと  
 ◆ 今後必要とされる能力と1年生へのアドバイス

## 三松小 オオヨドカワゴロモの授業

4年生



テーマ「大切にしよう！私たちの三松」

学習を深めるため、社会教育課の井上さんに専門的な話をしていただきました。写真や模型を見たり、実物に触れたりしながら、オオヨドカワゴロモを守るためにはどうしたらよいかを考えました。(3クラスで実施)

【授業の流れ】調べて分かったことを発表 ⇒ 専門家の話 ⇒ 自分たちができることを考え、話し合い、発表

川を汚さない、ポスターを作る、ボランティアに参加するなど、たくさんのアイデアが生まれました。



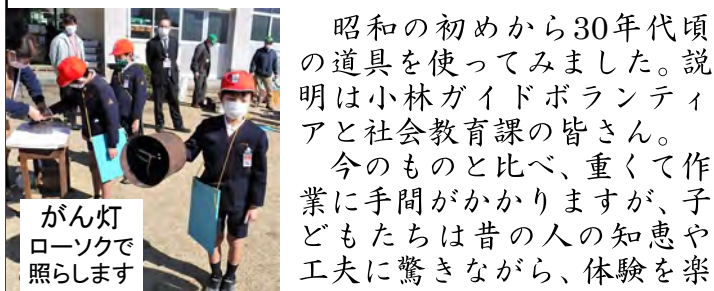
【オオヨドカワゴロモ】コケのようにも見えるが水生の被子植物。他のカワゴロモ属とは、厚さや花の数が違うことなどから、平成11年(1999)に新種「オオヨドカワゴロモ」として発表された。世界でも小林市の岩瀬川にしか生息していない貴重な稀少植物。国指定天然記念物

## 東方小 昔の生活体験

3・4年生



みの



がん灯  
ローソクで  
照らします

昭和の初めから30年代頃の道具を使ってみました。説明は小林ガイドボランティアと社会教育課の皆さん。今のものと比べ、重くて作業に手間がかかりますが、子どもたちは昔の人の知恵や工夫に驚きながら、体験を楽しんでいました。用意した道具は…

石臼・のこぎり・斧・七輪・からい(背負い)かご・みのわらじ・炭火アイロン・がん灯・黒電話

数年前、ケーキ屋で職場体験をした生徒。果物の缶詰と缶切りを渡され、開け方が分からず戸惑ったそうです。マッチを擦れない子どもたちもいます。使う機会がなければできないのは当然ですね。一方では、スマホを自由に操作してゲームや動画を楽しむ幼児もいます。

道具の進化とともに、それを扱う人間も(良い悪いは別にして)変わります。

## 成果と課題 ~実践記録集より~

学校の意見をまとめてみました。【活動のキーワード】成果(課題)・《同様の内容をあげた学校の数》です。

**成果** 【地域の協力・ふれあい活動】学校教育環境の充実、貴重な学び、地域とともにある学校づくり、職員の負担軽減、地域住民の学校への願いを再確認、児童とボランティア双方の喜びと充実感、学校がふれあいの場に《10》

【コロナ禍でも…】保護者や地域の協力、創意工夫して実施、学校の伝統を継承《7》



【組織・団体・企業との連携】ふるさと・地域の良さの再確認、ねらいに沿った教育活動の実施、職業講話の充実、協力への感謝の気持ちの醸成《3》

【福祉体験活動】社会的視野の拡大、学びの深まり、キャリア教育の充実《2》

【学習支援ボランティア】きめ細かな指導と教育的支援児童と向き合う時間の確保《2》

【新しい活動の導入】新たな学びの提供(時代に即した)情報モラルへの理解《2》



【米作り体験・農業体験】作物を育てることへの理解収穫の喜び、地域へ貢献していこうとする態度の育成

【専門的で細やかな支援】教育効果の向上

【リモート授業の推進】視野の拡大と表現力やコミュニケーション力の育成

**課題** 【コロナ禍で…】行事の中止、時間や内容の縮小、活動内容の見直し・工夫、外部と接触する活動への対応、伝統芸能継承の難しさ《11》

【地域ボランティア】教科学習やキャリア教育への支援、体験活動以外での活用、地域の人材確保、地域住民の高齢化、地域の負担軽減、地域との関わりを考えた教育課程の見直し、募集方法の工夫、地域住民との交流機会の増加、感染対策を取り入れた授業の工夫、専門的な人材の事前把握《10》

【福祉体験活動】他の教科・領域との関連付、継続的な指導

【関係機関との連携】効果的な人材活用、キャリア教育の充実



【専門家の活用】教職員の指導力向上

【オンライン授業】企画段階での生徒の主体的な参加

【地域コーディネーター】学校からの依頼を待っているが、活用の機会が少ない

※ 紙面の関係でかなり短い表現になりました。( )で成果があった、( )が課題である、と読み替えていただければと思います。次号は課題解決の方策と今後の方向性です。

**事務局より** ◆ 実践記録集のデータをKSSVCのフォルダに入れました。(PDF) ご活用ください。

◆ 感染対策で、講師を招かず校内で対応する取組も増えてきました。そういう活動も取材させていただきます。コロナに負けない学校の創意工夫と子どもたちの元気な姿が、私たちのエネルギーになっています。



# School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け



【永久津中】グラウンドゴルフで交流  
H27年(2015)5月



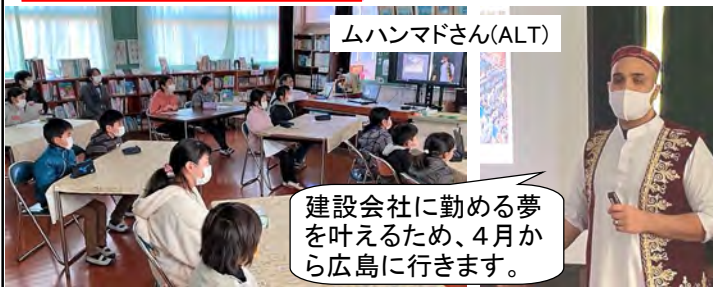
学校・地域コーディネーター  
研修会 H27年6月

事務局では過去6年間の活動をDVDに記録しています。資料を整理しながら眺めては、子どもたちの成長ぶりに驚いたり、当時の先生方の様子に懐かしさを感じたりしています。

今年度もたくさんの活動が生まれました。これらもいずれ「あの時は…」と振り返る対象になるのでしょうか。そんなことを考えながらデータの整理をしているところです。

## 幸ヶ丘小 2つの授業

### アフガニスタン紹介



先生の故郷アフガニスタンの自然や文化、生活、学校の様子など、ビデオやスライドを使ってのお話により、子どもたちは目を輝かせて聞き入っていました。この様子は宮崎市の鏡洲小にもオンラインで配信され、両校の児童と一緒に授業を受けました。

### オルゴール演奏とお話



永山明美さん

永山さん(都城市)は高齢者施設などを訪問し、演奏とお話をしています。

この日は、前後に転がしても音が途切れない自動車のオルゴール、穴の開いたカードを替えているいろいろな曲が演奏できるもの、大きな箱で大きな音が鳴るものを紹介。児童や先生方は、心地よい音色に合わせて目を閉じたり、童謡を歌ったりして、ゆったりとした時間を楽しんでいました。

## 薬物乱用防止教室

西小林小・幸ヶ丘小  
5・6年生



たくさんメモ  
をしました。

西小林小での授業。小林保健所の萩原さんが別室からオンラインで行い、幸ヶ丘小の5・6年生4名も一緒に授業を受けました。子どもたちが熱心にメモを取る姿が印象に残りました。

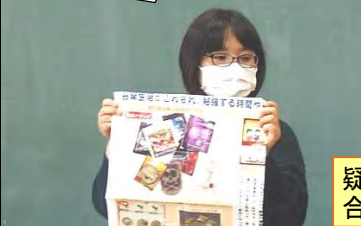
【主な内容】薬物の種類や薬物が脳(心と体)に与える影響、お酒やタバコの影響、誘われた時には…

きっぱり断る。話題を変える。用事があると断って逃げる。マイナス面を繰り返す

【お礼の言葉】◆正しい薬の使い方や断り方がよく分かりました。(5年生)

◆正しい知識と断る勇気を持ちます。(6年生)

違法薬物はいろいろな名前や形で売られています。



疑問点や感想を出し  
合い、発表します。



南小 6年生

例年、保健所に講師を依頼していますが、今年は校内で対応。養護教諭の山崎先生が2クラスで授業を行い、たくさんの図やイラストを使い分かりやすく説明しました。

【お話より】◆中毒になると、手の平に虫が見えたりします。◆薬物では、ストレスなど、心の悩みの解決にはなりません。

【主な内容】違法薬物の種類、脳(心と体)に与える影響、薬物に手を出したきっかけ、誘われた時の具体的な断り方、薬物が原因の事故や事件の例

【感想より】自分や他の人を守るために、違法薬物には絶対に手を出しません。

## 野尻小 歴史民俗資料館見学

3年生



わらじ

協力は社会教育課

館内の民具をはじめ、歴史資料や遺跡からの出土品などを見学。昭和初期の展示コーナーでは、どの児童も好奇心一杯の目をして説明を聞いていました。また、のこぎり・斧・背負いかご・わらじなどに触れる時間もあり、歴史を楽しく身近に感じることができました。

## 細野中 キャリア教育講演会

3年生



鶴田 凧沙さん(霧島酒造総務人事課)

会社や仕事内容の紹介を始め、仕事のやりがい、生徒たちへのメッセージなど、分かりやすく丁寧に話してくださいました。寒い日でしたが、会場には真剣な表情で聞く生徒たちの熱気が溢れていました。

【中学生へ】 ◆「熱中できるもの」を見つけてほしい。

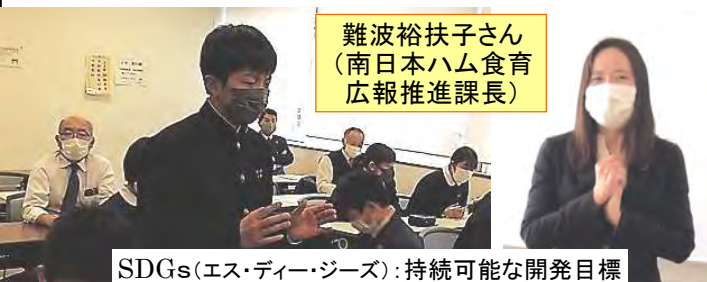
◆「思い出」をたくさん作ってほしい。

◆「将来の夢」をもってほしい。

【お礼の言葉】 想像力を働かせることを意識して残り少ない中学生生活を過ごしたいです。



## 須木中 SDGs 講演会 ドリームジャンボ学園



難波 裕扶子さん(南日本ハム食育広報推進課長)

SDGs(エス・ディー・ジーズ):持続可能な開発目標

【お話より】 ◆ 社会・経済・環境、3つの要素の調和がポイントです。 ◆ SDGs のキーワードは「私たちの世界をつくり変える」。そのためにも、地球規模で学び考え、日々の生活の中、身近な地域社会で行動を起こす。私たちひとり一人が中心となり変化を起こすことが大切です。 ◆ 服を選ぶときにも、それを作っている人たちのことも考えてみましょう。 ◆ 大人だけでは目標は達成できません。皆さんの力が必要です。

【お礼の言葉】 普段から、エコバックの使用や食材を無駄にしないことを心がけます。



この日は学園の最終回。3年生に修了証が贈られました。

【田代さん】 毎回、感想文を読ませてもらい、皆さんの成長を感じました。好きな言葉を贈ります。「夢は叶うもの思い強ければ」

【3年生代表】 さまざまな仕事のことや考えを聞き、進路の参考になりました。学んだことを高校でも生かしたいです。



田代さん(社会福祉協議会須木支所長)

## 課題解決の方策・方向性 ~実践記録集より~

※「~を検討する」「~を実施する」「~を進める」のように読み替えてください。

【活動前後】 ◆ 確実な事前指導と継続した事後指導  
◆ コロナ禍での連携 ◆ 実施に向けた感染対策

【学習内容】 ◆ ボランティアとの情報の共有(活動の目的・活動の流れ・配慮事項) ◆ 提供された資料の保管  
◆ 関連する指導を見通した内容の検討

【地域住民・関係機関との連携】 ◆ 互いのニーズを基にした密接な連携 ◆ 日常的な相談や連携

◆ 実施できなかった行事の次年度への引継

◆ 学校運営協議会委員やボランティアの柔軟な発想を生かした活動 ◆ 外部と連携した活動の見直し・整理

◆ まちづくり協議会との連携を通じた地域に誇りをもつ児童の育成 ◆ 地域に貢献できる施設と催しの提供

◆ 地域の行事に参加し、住民とふれあう機会を増やし、人材発掘も ◆ 密接な連携で、状況の変化にも対応できる体制づくり ◆ 活動の見直し・精選

◆ 学校と地域の思いを生かした活動。相互理解

◆ 地域と学校が互いに負担を感じない効果的な連携

◆ 人材育成のため、卒業生からボランティアを募る体制づくり(東方輪太鼓踊り) ◆ より効果的な学校支援

◆ キャリア教育の視点で、各活動のねらいの見直し

【広報活動】 ◆ 「KSSVC だより」を活用し、保護者への紹介と他校の活動を自校に生かす取組

◆ 地域への積極的な広報活動

【総合的な学習】 ◆ 地域の人材や素材の見直し

◆ こすもす科のねらいに沿った効果的な活動

【社会に開かれた教育課程】 ◆ 地域の人的・物的な体制のさらなる整備を通じた特色ある学校づくり

【教職員】 ◆ ボランティアの活用による教職員の指導力の向上 ◆ 職員研修等での KSSVC への理解と関心

【生徒の参画】 ◆ 研修等で主体性を育成、企画・運営への参加 ◆ 生徒数の減少に伴う新たな協働体制の構築

各校が「他校の活動を自校に生かす」ことで、小林市の地域学校協働活動はさらに充実することでしょう。「KSSVC だより」「実践記録集」「1年間のあゆみ」がその一助になれば幸いです。

《事務局より》 ◆ 活動実績の報告をありがとうございました。 ◆ 4・5月の計画は、3月中にFaxでお尋ねします。よろしくお願ひします。

この1年、KSSVCの活動にご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

小林を離れる先生方には、新天地でのご活躍をお祈りいたします。

